

部局名	教育委員会	所属名	青少年センター	所属長名	麻生 秀樹	電 話	483-2842
-----	-------	-----	---------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4069		事務事業名称	青少年センター運営事業					短縮コード	経常	4069	臨時	4070
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市青少年センター設置条例施行規則							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
青少年の非行防止と健全育成を図るために、八千代市青少年センター設置条例が昭和53年に制定され、八千代市青少年センター（以下「青少年センター」という）が設置された。青少年センターの適正かつ円滑な運営を諮り、活動に必要な施策を協議決定するため、八千代市青少年センター運営協議会（以下「協議会」という）を設置し、地域等との連携を図りながら青少年の補導活動を推進するために、八千代市青少年補導委員（以下「補導委員」という）を設置している。また条例第3条に関わる業務を円滑に行うため八千代市学校警察連絡委員会事務局として活動をしている。青少年センターは、これらの協議会等の連携を通じて、青少年の非行防止・健全育成を諮るため街頭補導活動、相談業務の充実・情報の共有化、健全育成に関わる広報活動等について諸活動を計画・運営している。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
昨年度の青少年センターでの街頭補導活動において、前年度と比較してみると中学生女子の補導数が増加傾向にあり、非行の入口にたっている傾向が見受けられる。青少年のプロフのモニタリングにおいても、公共の場で未成年の間での飲酒や喫煙、外泊等が見受けられるのが、現状である。こうした非行を未然に防ぐために、今後も非行に繋がりやすい場所を把握しながら重点的に補導活動を行う必要がある。又、携帯サイトのモニタリング等においては、他市生徒とのリンクが増加し、携帯がツールとなり、非行を助長する傾向にある。今後も携帯サイトを中心としたプロフ等のモニタリングを定期的に行いながら、学校や警察等関係機関に必要な情報を提供していく必要がある。近年では、家庭内での非行も増加しており、青少年補導委員による街頭補導活動は、地域社会や家庭との連携をより深め、地域ぐるみで青少年を育てていく重要な役割を担う。					大項目（節）	03	青少年健全育成						
					中 項 目	01	青少年健全育成						
					小項目（施策）	02	青少年健全育成事業の推進						
					細 項 目	04	非行防止活動の推進						
					実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円	

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	青少年							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 街頭補導活動、青少年非行防止のための会議、研修、各種行事への参加、学校と警察の連携、善行表彰、各学期休業中のしおりの作成、通報・相談業務、広報誌への掲載、青少年センター運営協議会の開催、青少年のプロフのモニタリング							
	※平成22年度に計画していること： 街頭補導活動、青少年非行防止のための会議、研修、各種行事への参加、学校と警察の連携、善行表彰、各学期休業中のしおりの作成、通報・相談業務、広報誌への掲載、青少年センター運営協議会の開催、青少年のプロフのモニタリング							
意図 （何を狙っているのか）	○非行児童生徒の発見・指導○青少年補導委員の資質の向上、補導委員相互の連携を図る。○学校と警察の連携を図り、情報交換を行う。○非行防止・事故防止や善行の奨励等青少年の健全育成について周知する。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	青少年補導数	人	187	190	210	210	
	指標 2	学校警察連絡委員会活動	日	25	25	25	25	
	指標 3	補導委員連絡協議会活動	日	147	50	50	50	
活動指標	指標 1	街頭補導活動	日	272	280	286	290	
	指標 2	学校警察連絡委員会活動	日	25	25	25	25	
	指標 3	補導委員連絡協議会活動	日	147	50	50	50	
成果指標	指標 1	街頭補導活動	日	272	280	286	290	
	指標 2	学校警察連絡委員会活動	日	25	25	25	25	
	指標 3	補導委員連絡協議会活動	日	147	50	50	50	
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	4069	事務事業名称	青少年センター運営事業				所属名	青少年センター
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			青少年の非行防止活動を行っている事業であり、今後も継続が必要である。青少年のプロフのモニタリングにおいては、市内の公共の場や家庭内での飲酒や喫煙等の様々な非行が見受けられるのが現状である。情報を的確に把握し、非行に結びつきやすい場所を重点的に街頭補導活動を行っていく必要がある。又、携帯をツールとして青少年の非行に結びつきやすい行動が見受けられるため、携帯サイトを中心としたモニタリングの回数を増加させていくことによって、多くの情報を把握し、学校や警察等の関係機関に的確で迅速に情報提供していくことが、今後の青少年非行や青少年犯罪を未然に防ぐ手段として有効になる。より多くのモニタリングができるよう、現在モニタリングに必要な知識と技術を持った再任用職員の配置を要望し、より多くのモニタリングができるようにしたい。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☒ その他							
	☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
今後の方向性	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			街頭補導活動については、青少年補導委員と情報を共有化しながら連携して、非行に結びつきやすい場所を今後も重点的に行っていく。青少年のプロフのモニタリングについては、モニタリングが必要なプロフ数が増加しているため、モニタリングに必要な知識と技術を持った再任用職員の配置を要望している。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☒	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
特になし									

所属長コメント	少年非行を未然に防ぐことが何よりも重要な課題であり、青少年の動向を様々な手段によって把握することは非常に重要である。学校・警察等の関係諸機関との連携はもとより、補導委員・地域や家庭との連携を一層深め、情報を収集整理し、未然に不良行為を防ぐ手立てを実施することが必要となっていく。そのためには携帯サイトからの情報についても的確に把握・整理し、関係諸機関と情報のより一層密の共有化を図り、行動連携を深めていくことが、非行防止には大きな力となる。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			非行防止のためのモニタリングについては、順次推進すべき。 また、再任用職員等の活用については、対応可能な業務を整理したうえで、推進すべき。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☒ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									